

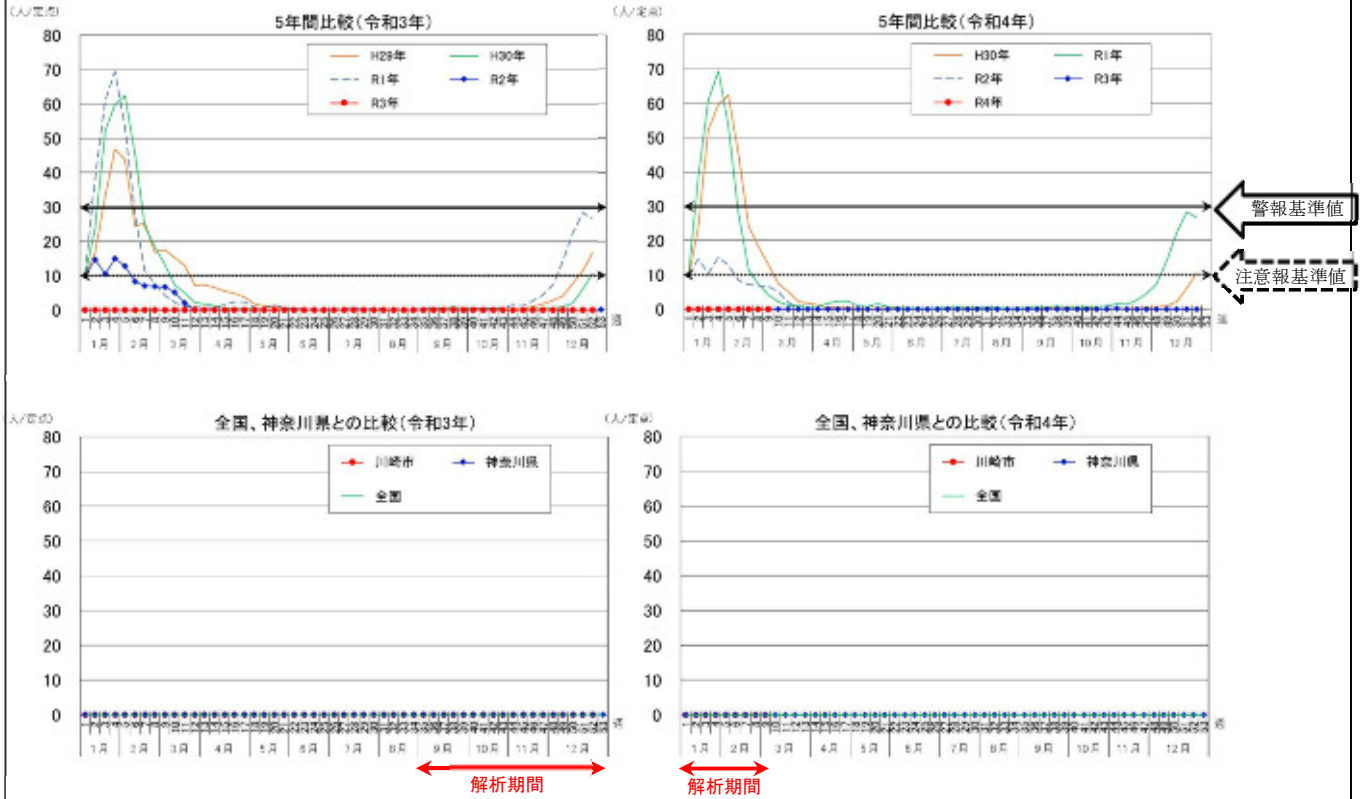
# 定点把握疾患の届出状況(令和3年9月～令和4年2月)

## <インフルエンザ定点対象疾患>

インフルエンザ(警報基準値:定点当たり30人、注意報基準値:定点当たり10人)

### 【川崎市】

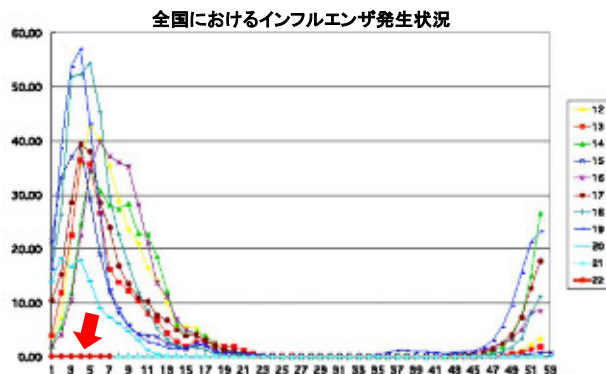
今期(令和3年9月～令和4年2月)は定点当たり0.007人の報告となり、極めて低いレベル(過去5年平均の報告数の0.0008倍)で推移しました。2021/2022シーズンは、令和3年第44週に5件、令和3年第43週に2件、令和3年第45週、第50週、令和4年第3週、第4週及び第9週に各1件の報告がありました。なお、流行開始の目安である定点当たり1.00人を超える週はありませんでした。



2021/2022シーズンは病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

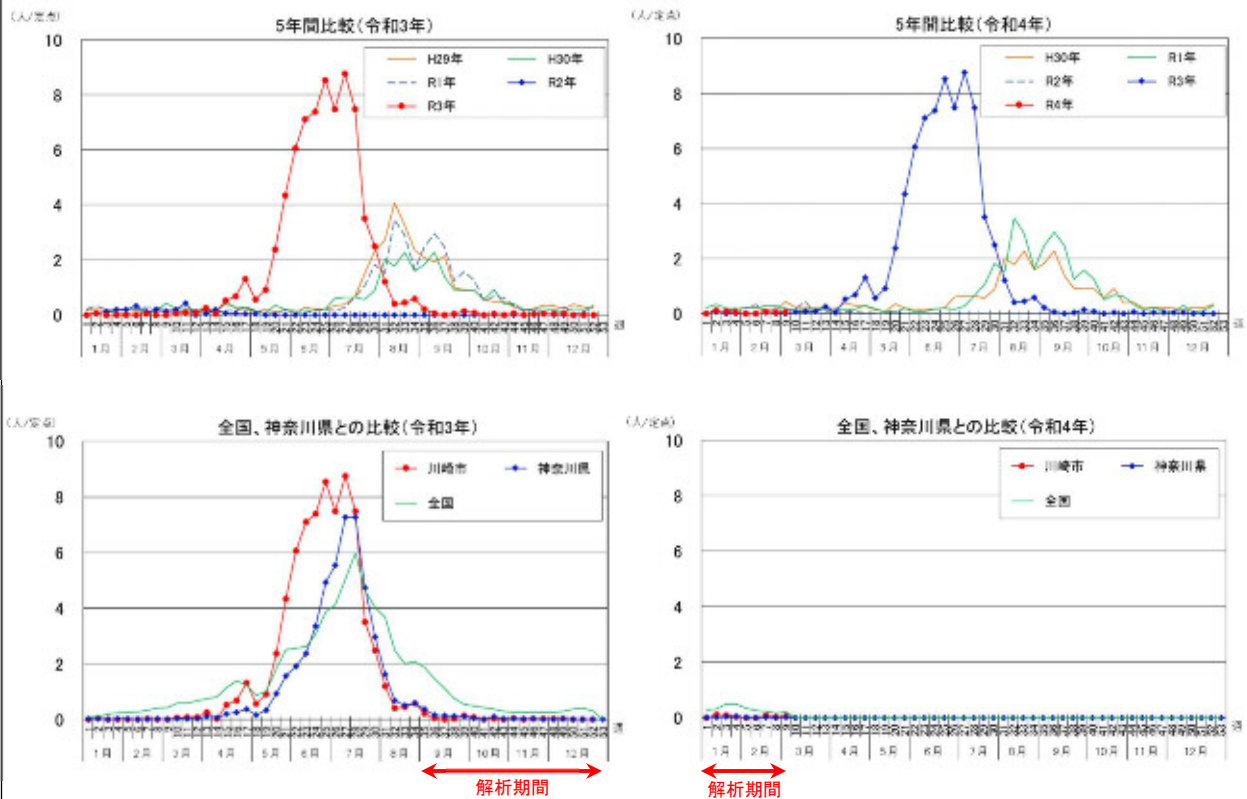


# <小児科定点対象疾患>

## RSウイルス感染症

### 【川崎市】

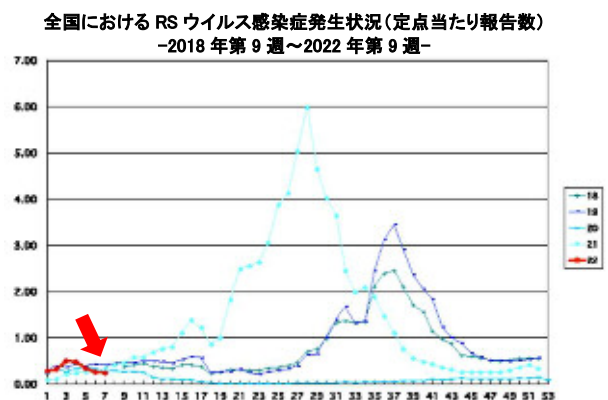
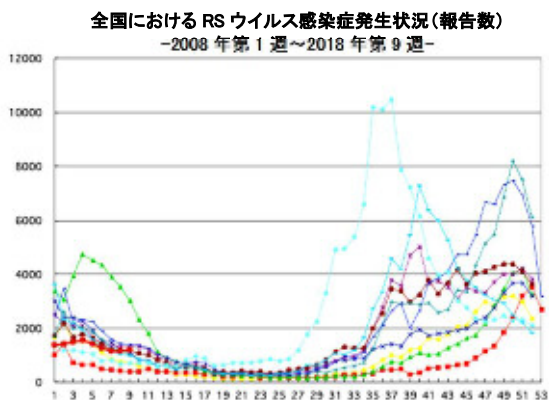
今期は定点当たり 0.04 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.08 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。



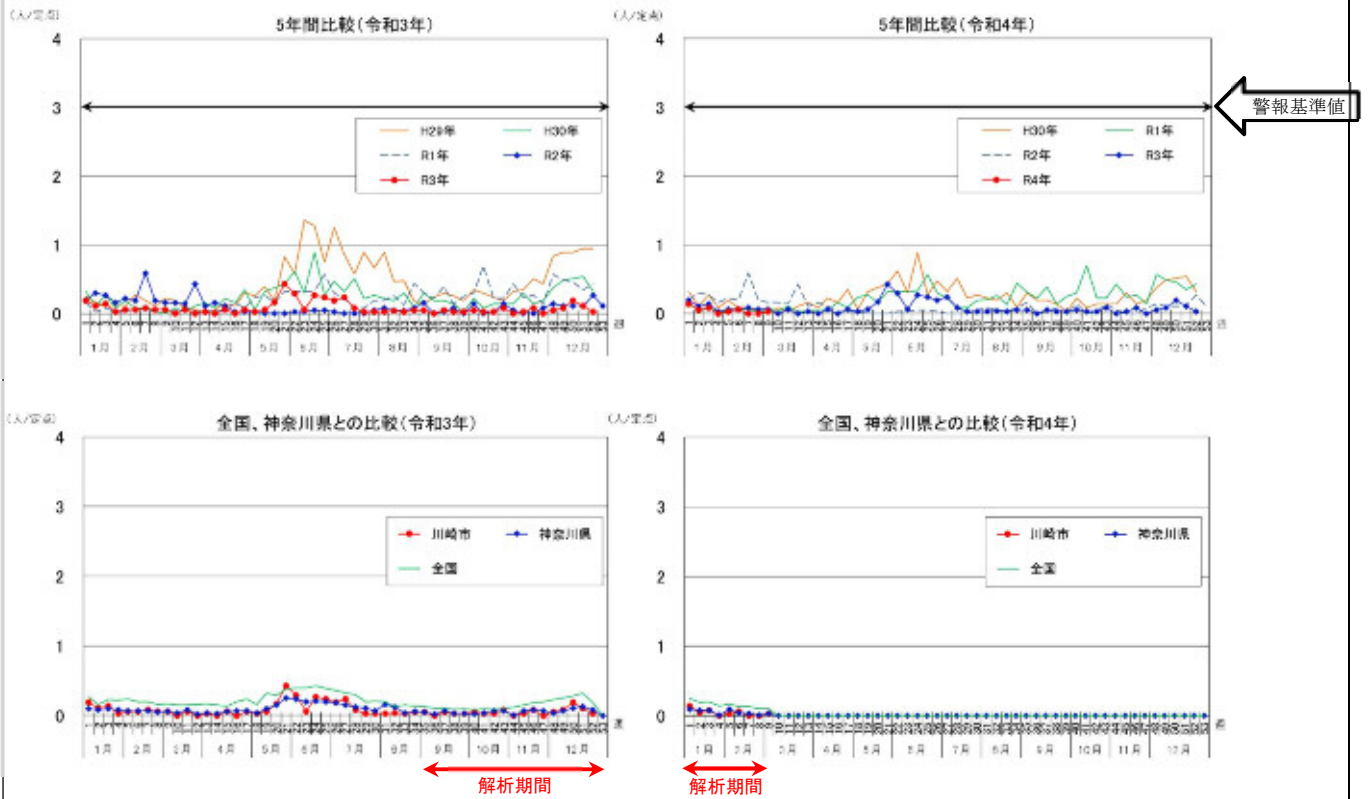
※2018年第9週(2月26日~3月4日)から、国立感染症研究所におけるRSウイルス感染症の集計方法が変更となりました。(報告数→定点当たり報告数)

## 咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.05 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.22 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

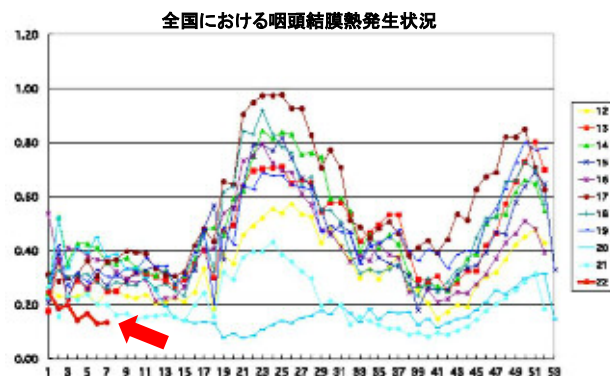
今期、流行発生警報基準値 (3) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

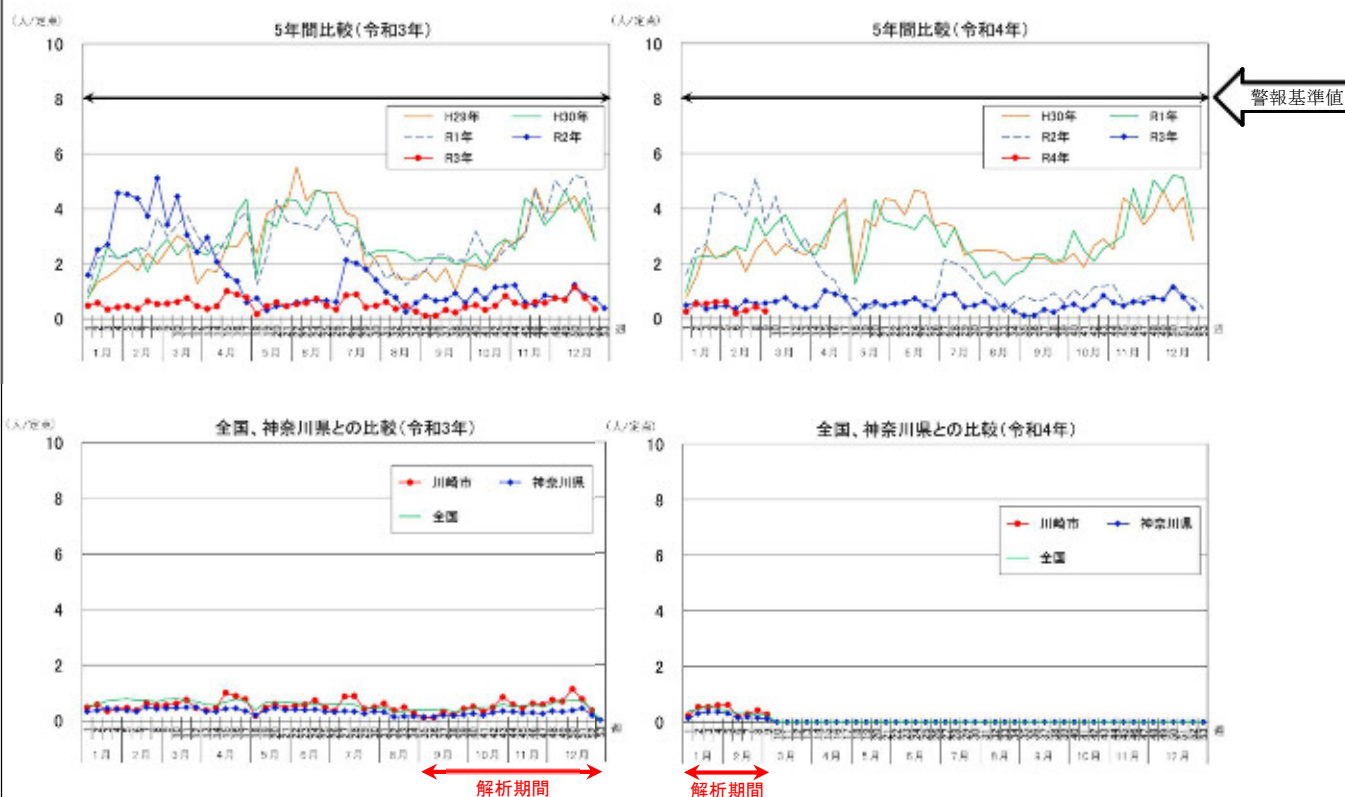


## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.48 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.21 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

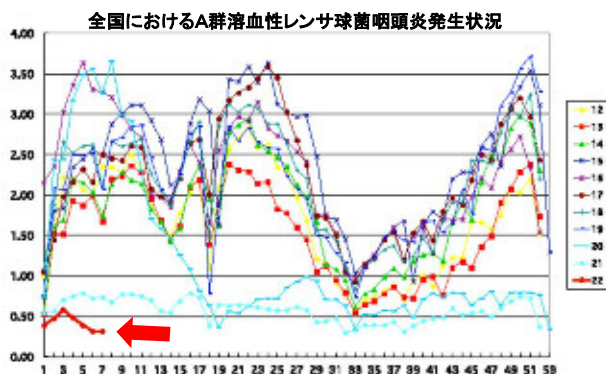
今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

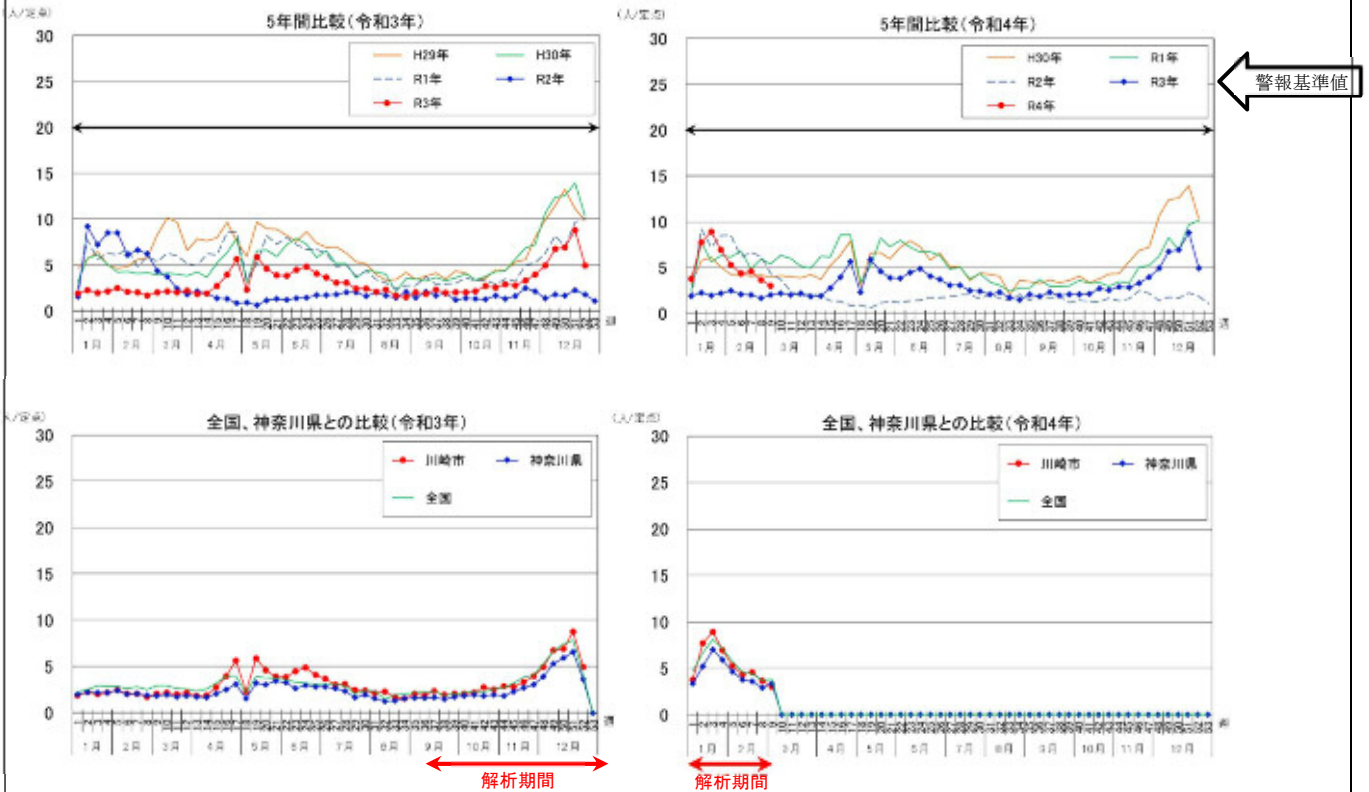


# 感染性胃腸炎(警報基準値: 定点当たり 20 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 4.19 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.71 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。9 月以降例年よりやや低いレベルで推移しましたが、1 月以降は例年並みのレベルで推移しました。

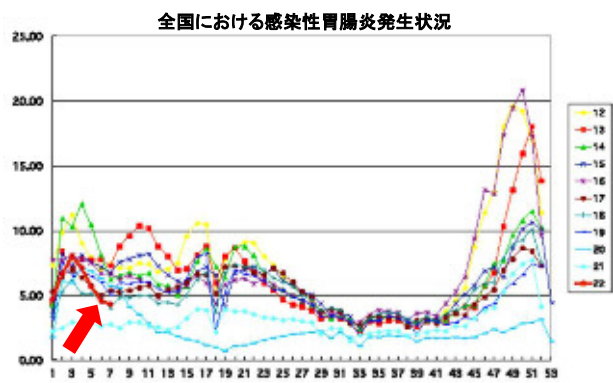
今期、流行発生警報基準値 (20) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

## 【全国及びその他】

全国的にも 9 月以降例年よりやや低いレベルで推移しましたが、1 月以降は例年並みのレベルで推移しました。



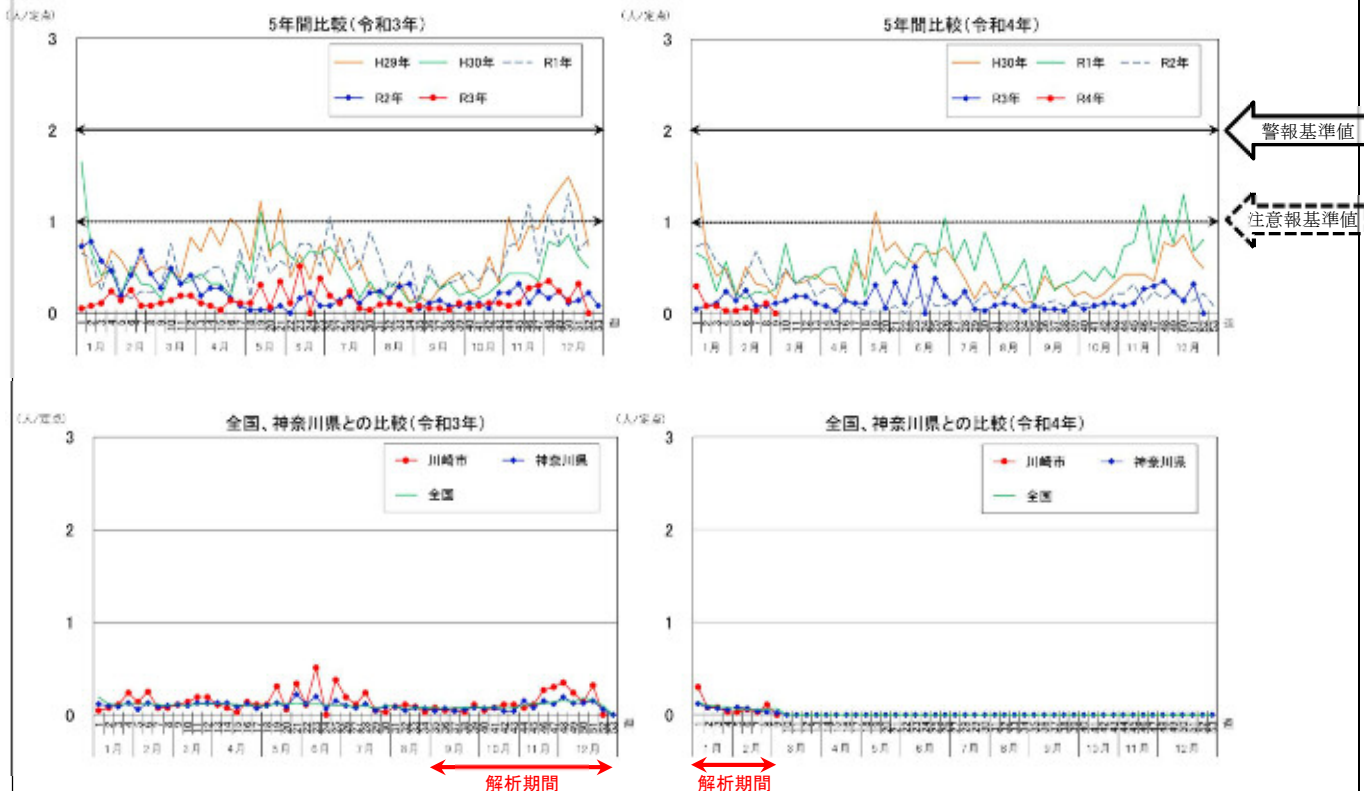


水痘(警報基準値:定点当たり2人、注意報基準値:定点当たり1人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.12 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.25 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

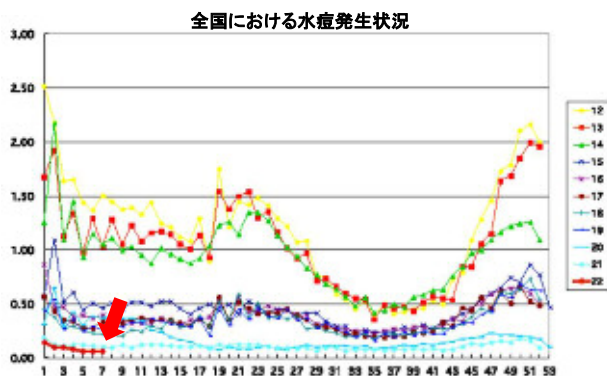
今期、流行発生注意報基準値 (1) 以上となった週は、高津区で第 51 週、宮前区で第 1 週でした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

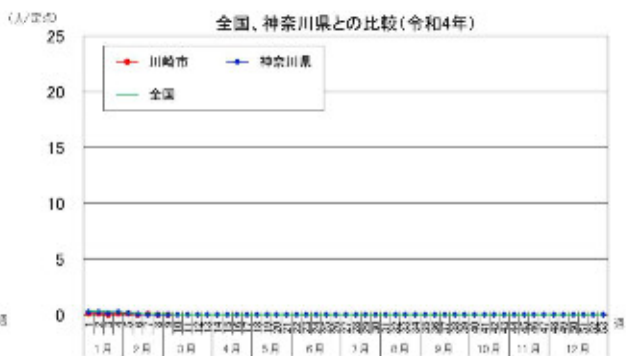
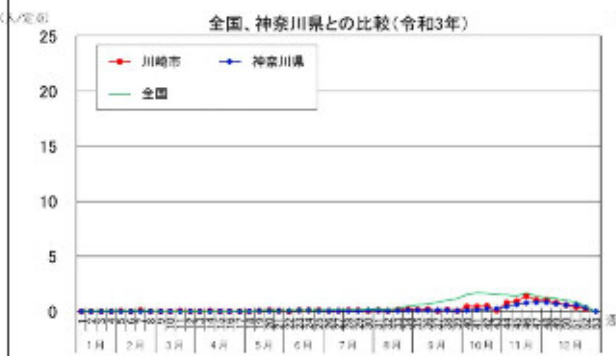
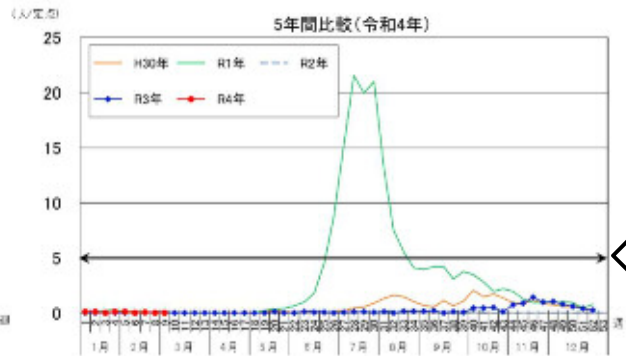
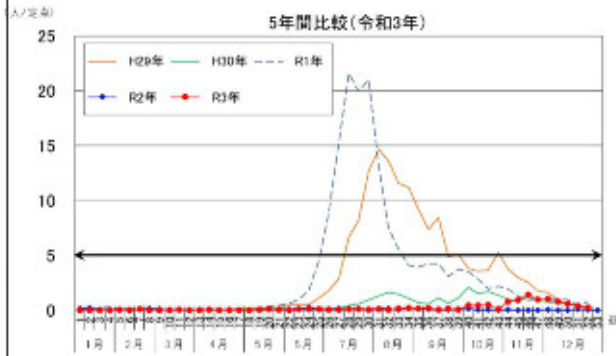


# 手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.37 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.34 倍で、例年より低いレベルで推移しました。11月上旬から12月上旬にかけて、報告数がやや増加しました。

今期、流行発生警報基準値(5)以上となった週は、宮前区で第46週でした。

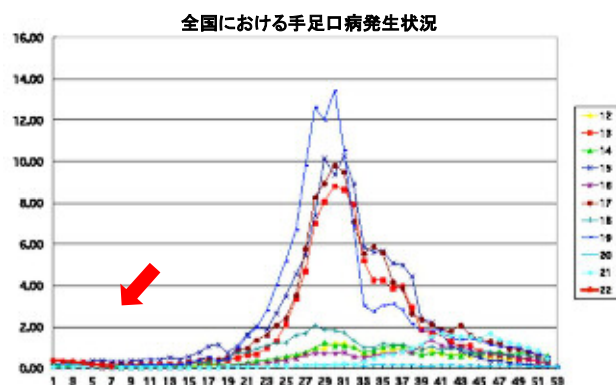


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	1	R3.10.6	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
多摩区	女	4	R4.1.4	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型

## 【全国及びその他】

全国的にも11月上旬から12月上旬にかけてやや高いレベルで推移しましたが、1月以降は例年並みのレベルで推移しました。

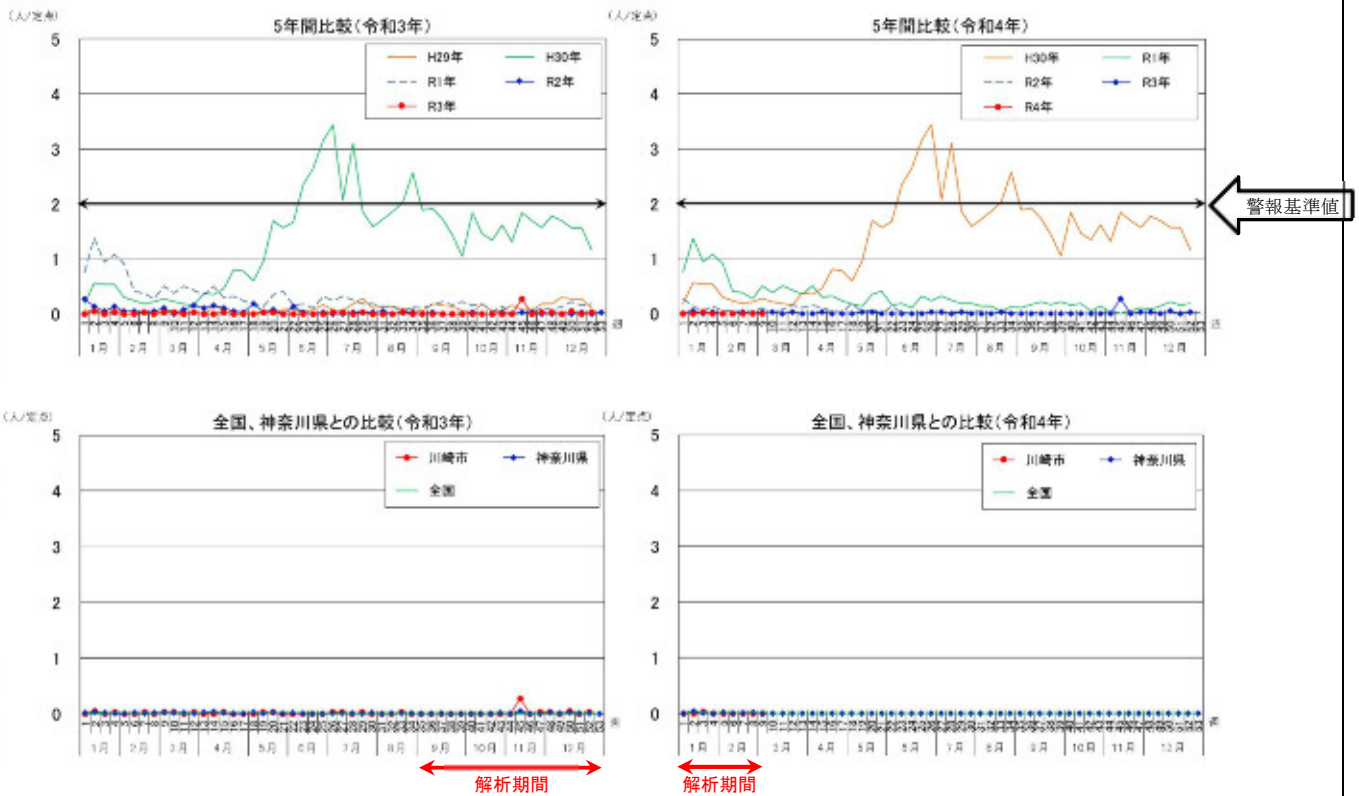


## 伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.02 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.06 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

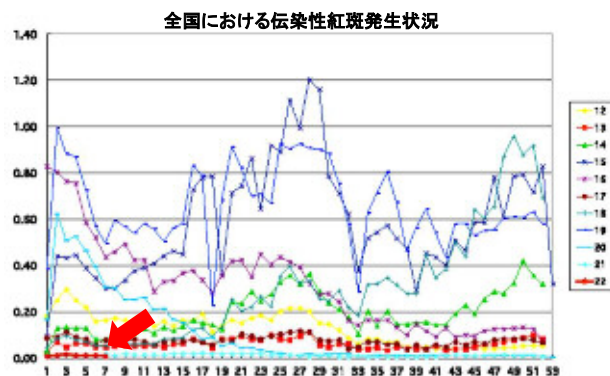
今期、流行発生警報基準値 (2) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



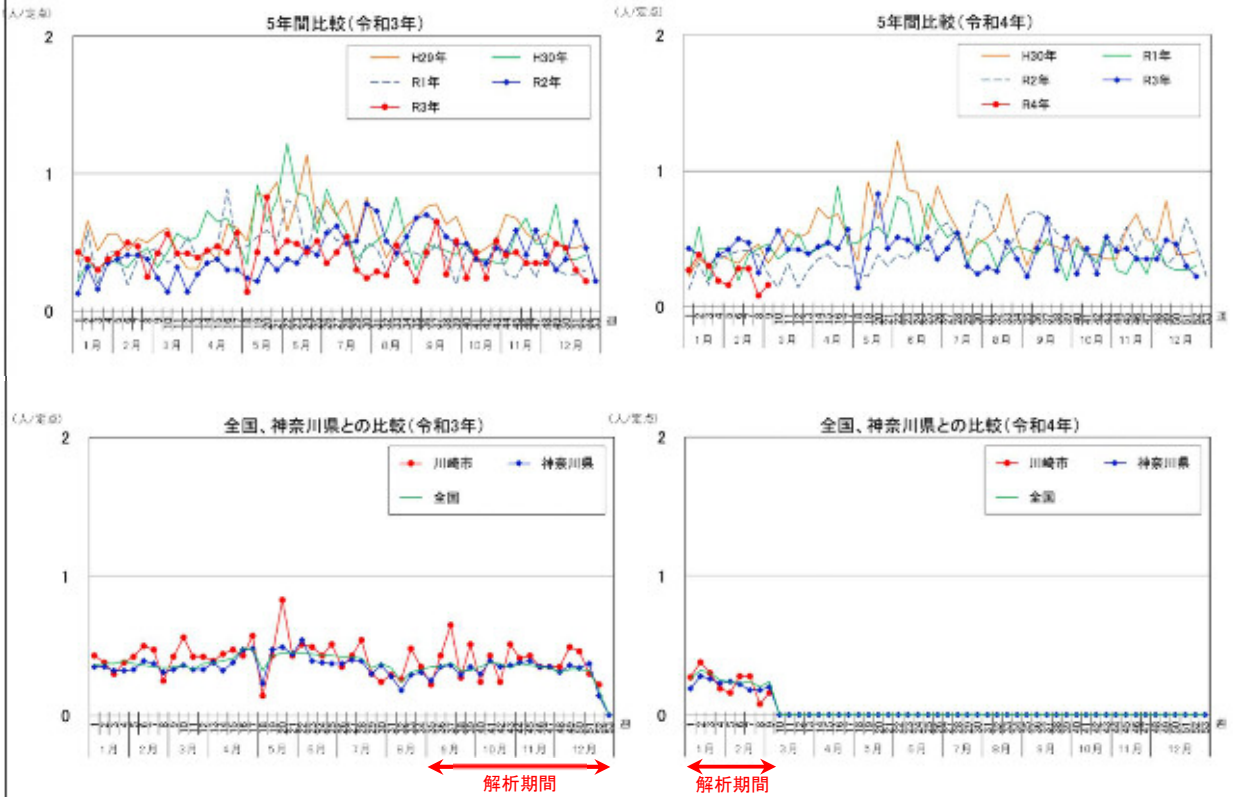


# 突発性発しん

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.33 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.73 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

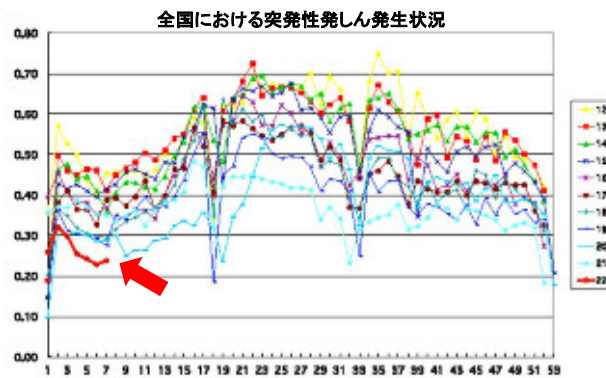
また、年齢階級別では 1 歳以下が 80.5%を占めていました。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

## 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

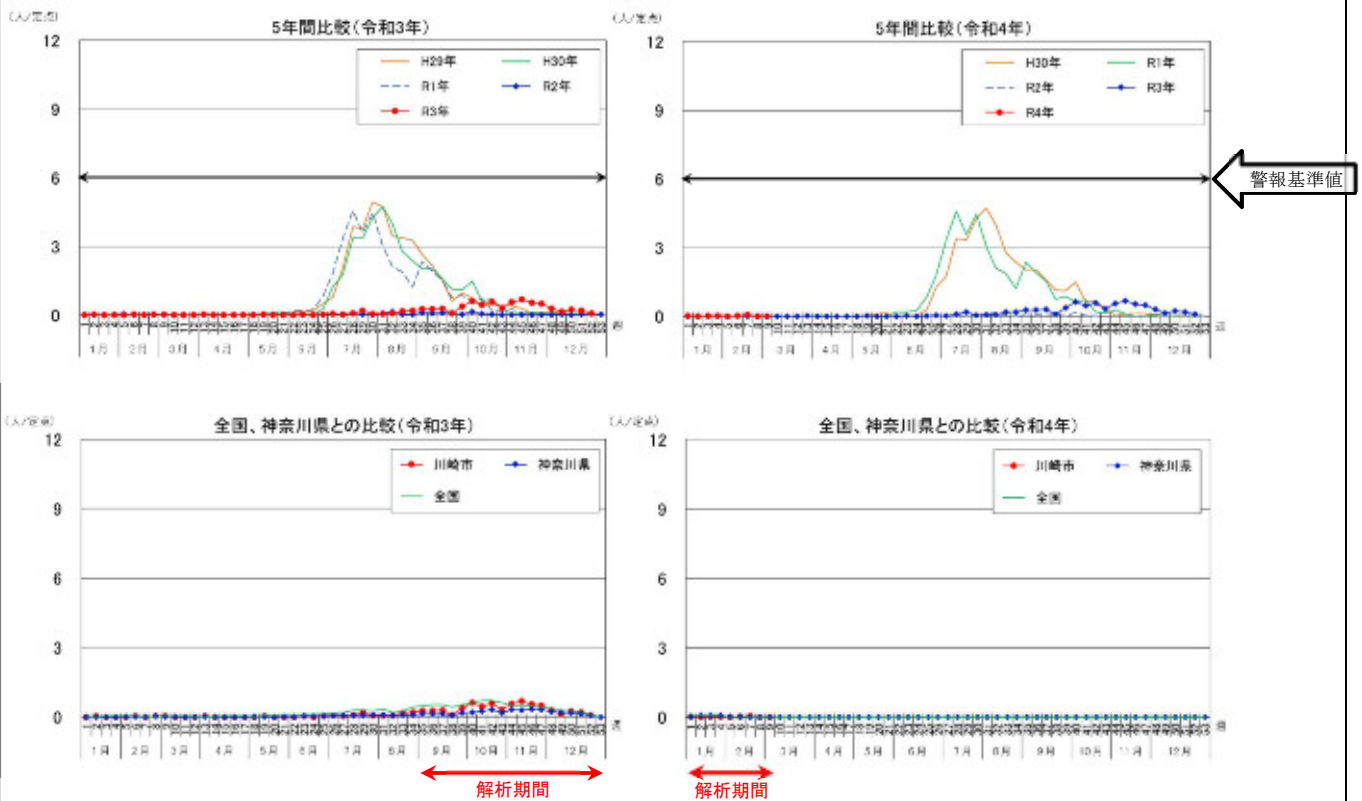


# ヘルパンギーナ(警報基準値: 定点当たり 6 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.25 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.77 倍で、例年並みのレベルで推移しました。9 月下旬から 11 月にかけて、報告数がやや増加しました。

今期、流行発生警報基準値 (6) 以上となった週はありませんでした。

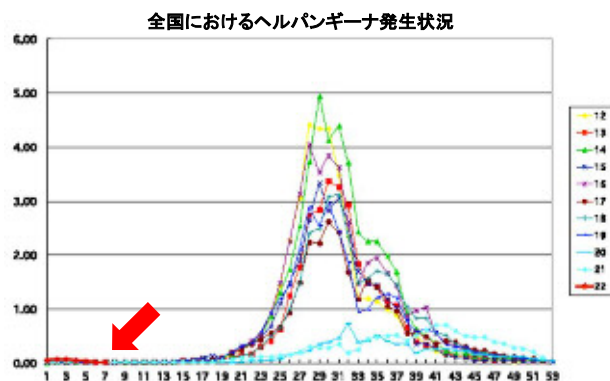


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	2	R3.10.8	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A4 型
多摩区	女	4	R3.10.18	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A4 型

## 【全国及びその他】

全国的にも 9 月下旬から 12 月にかけてやや高いレベルで推移しましたが、1 月以降は例年並みのレベルで推移しました。

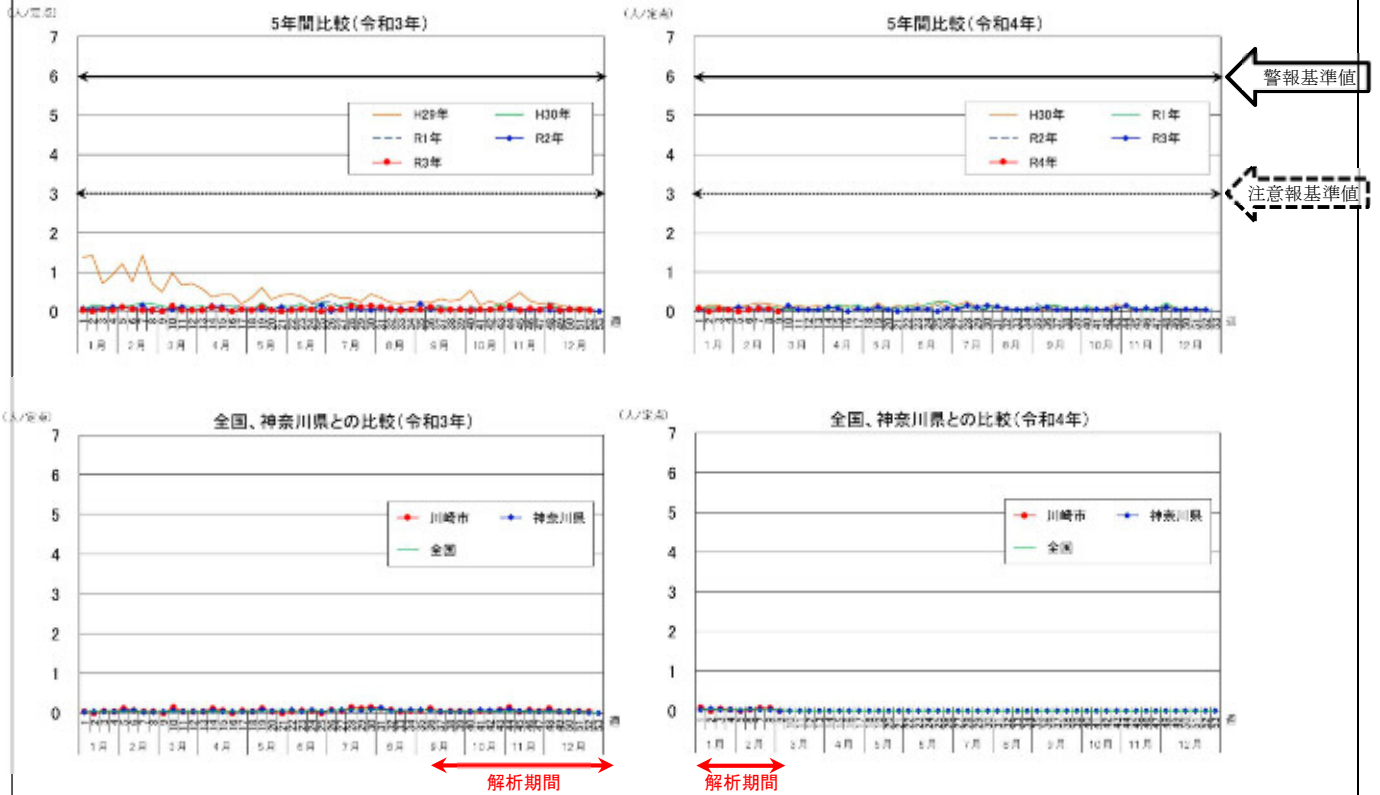


流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.05 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.15 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

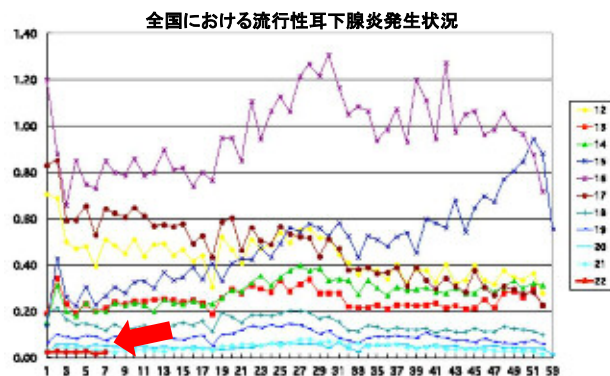
今期、流行発生注意報基準値 (3) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

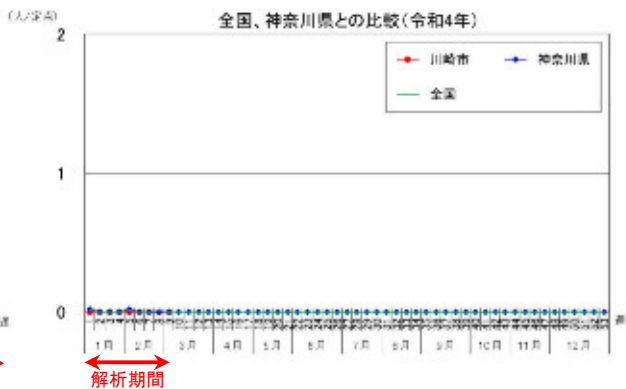
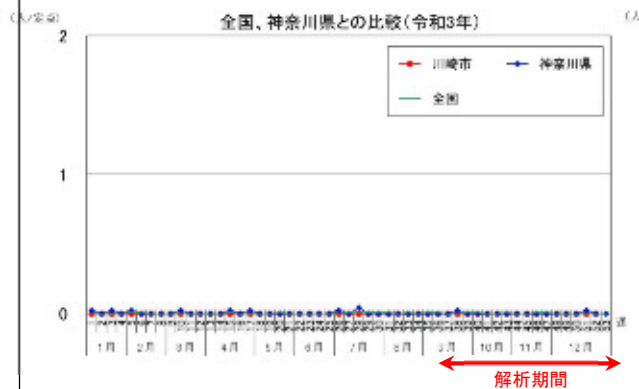
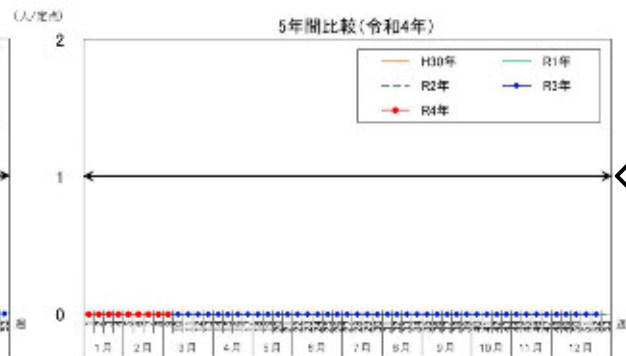
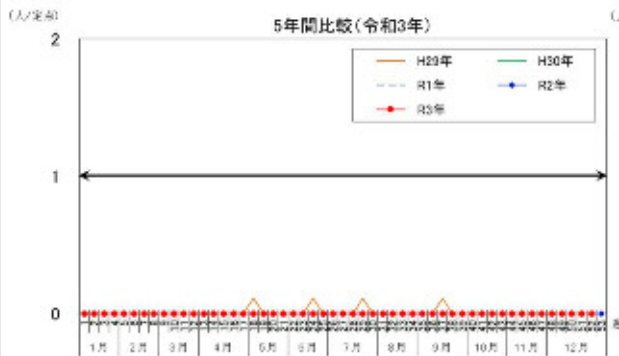


## <眼科定点対象疾患>

急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

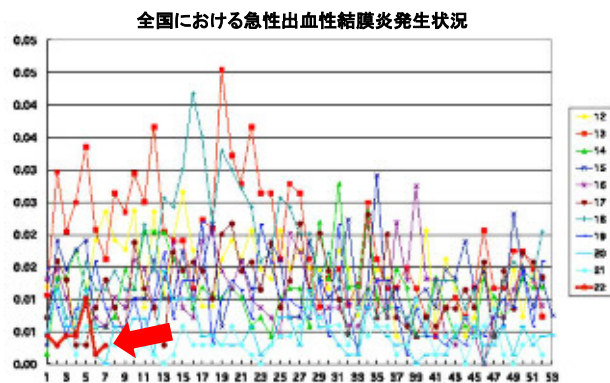
### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



### 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

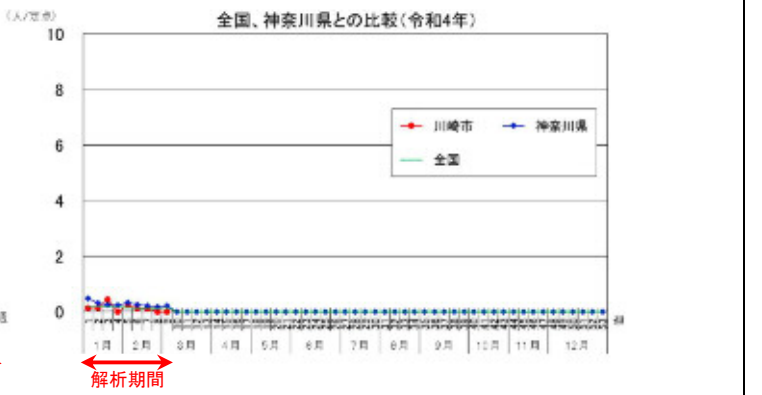
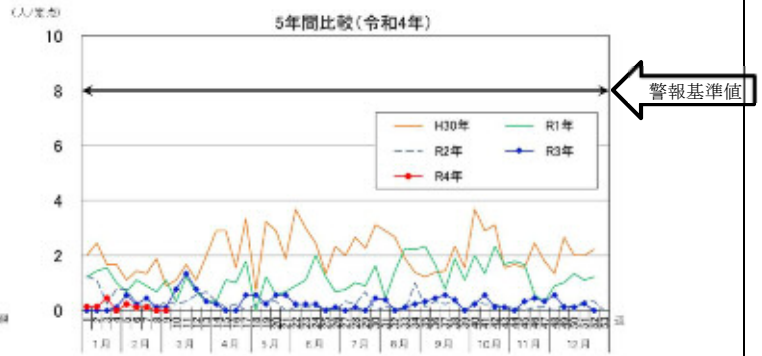
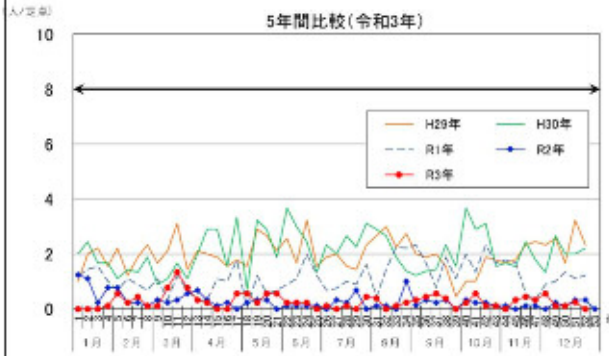


流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.22 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.16 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週はありませんでした。

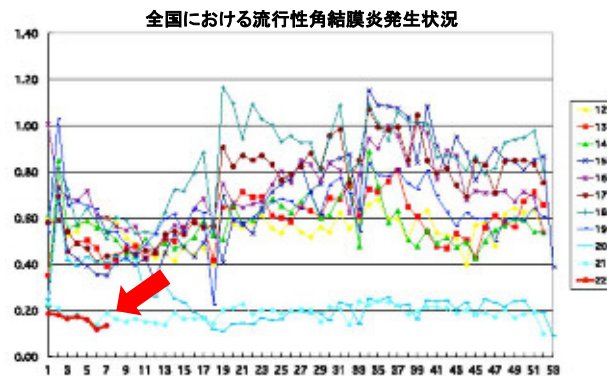


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	45	R3.12.2	眼脂	アデノウイルス 64 型
川崎区	男	25	R3.12.5	眼脂	アデノウイルス 37 型

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



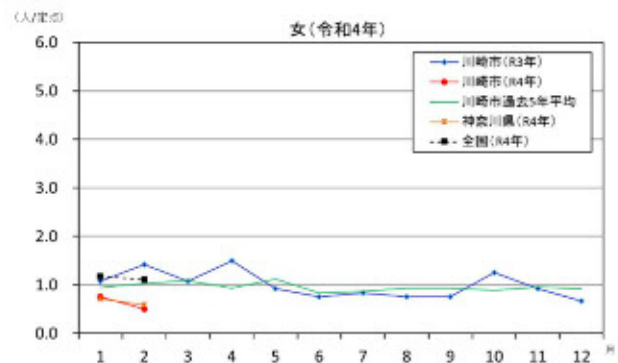
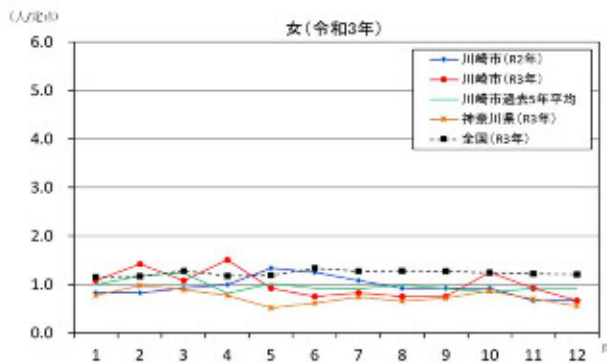
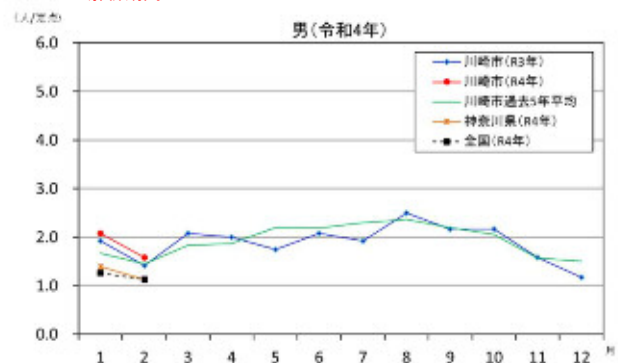
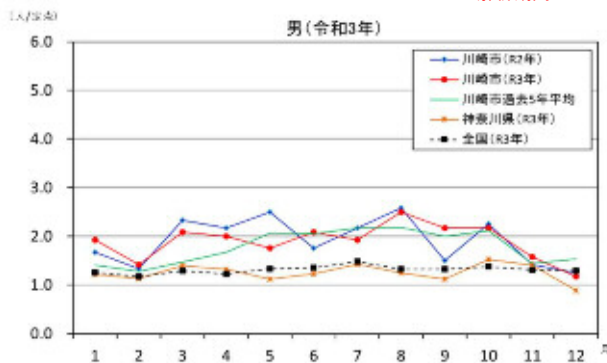
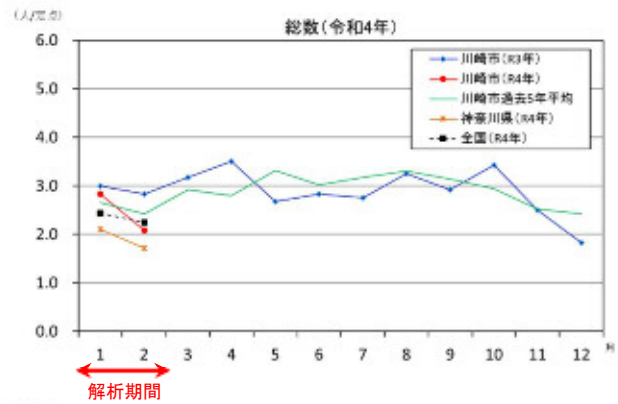
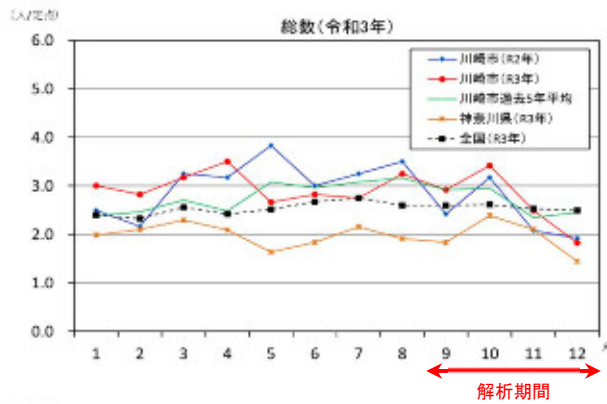


# <性感染症定点対象疾患>

## 性器クラミジア感染症

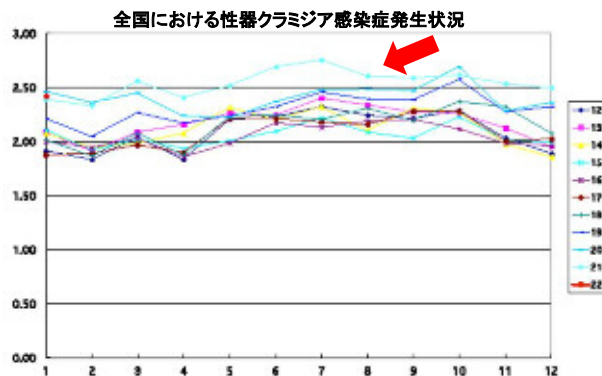
### 【川崎市】

今期は定点当たり 2.71 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.03 倍で、例年並みのレベルで推移しました。



### 【全国及びその他】

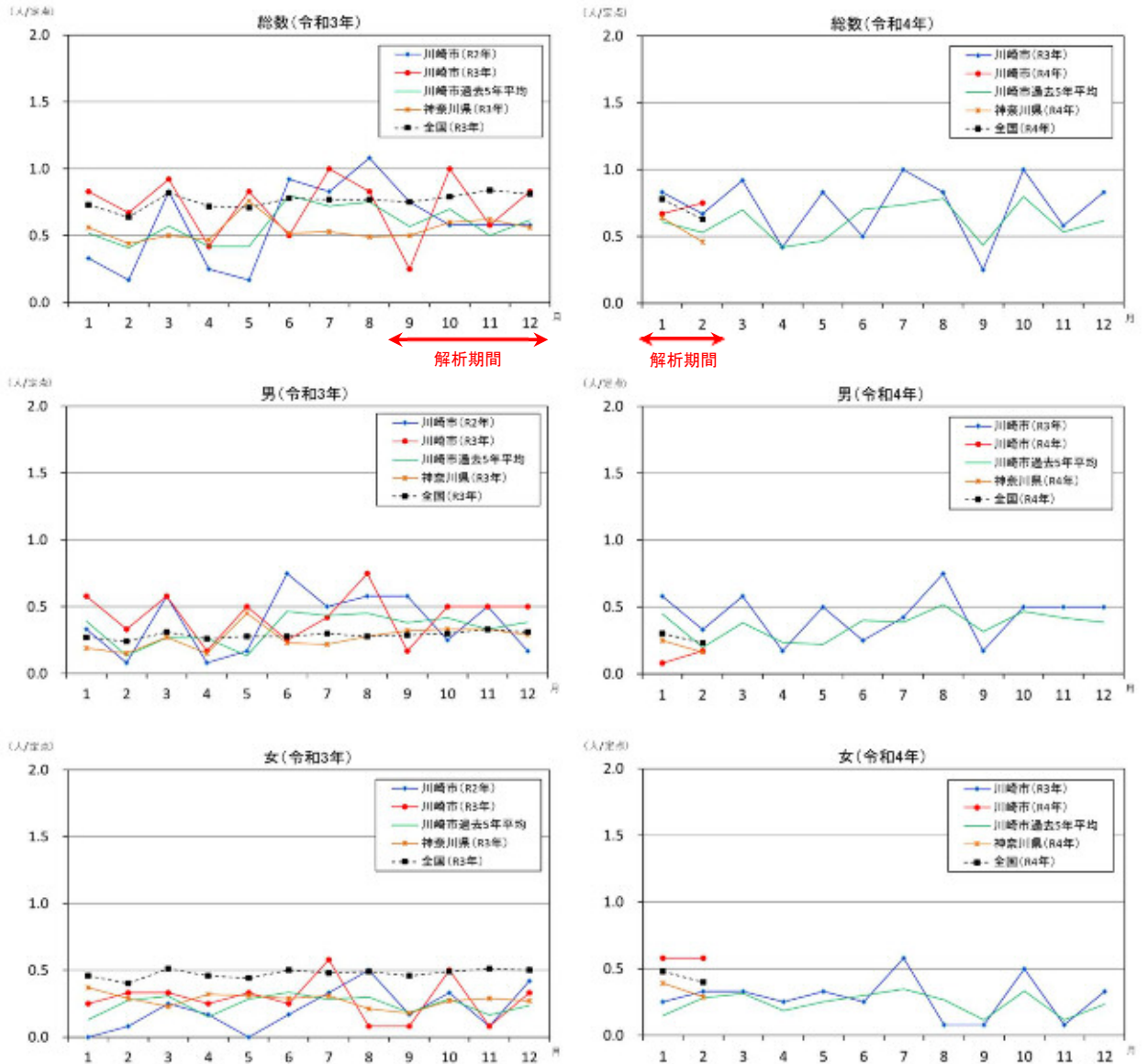
全国的には例年より高いレベルで推移しました。



# 性器ヘルペスウイルス感染症

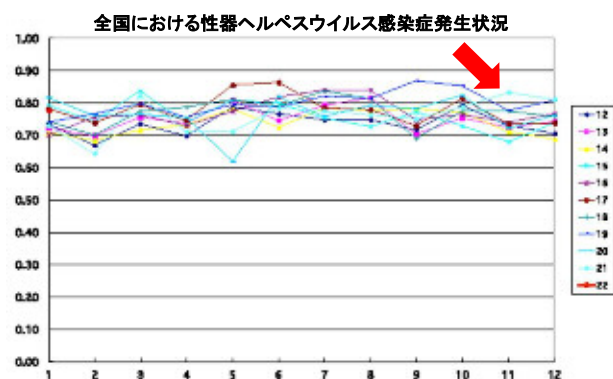
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.68 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.18 倍で、例年並みのレベルで推移しました。男性は 10 月～12 月、女性は 10 月、1 月及び 2 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

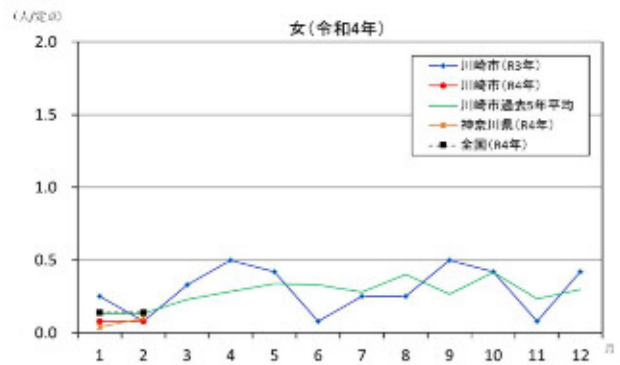
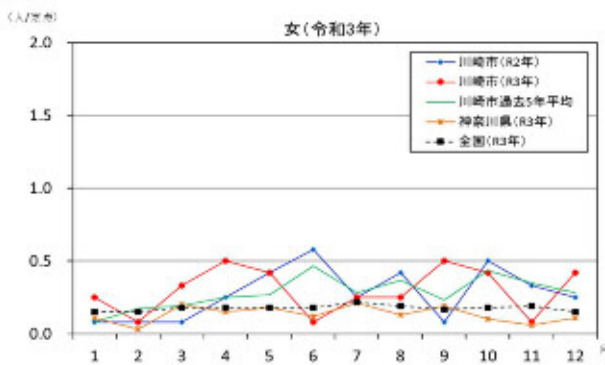
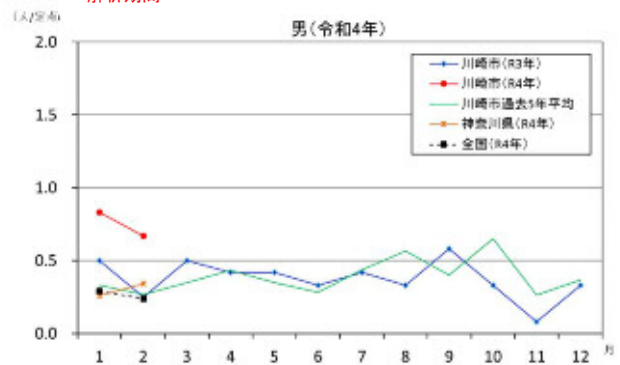
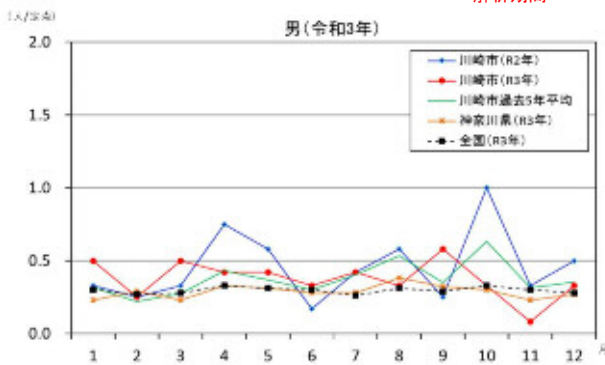
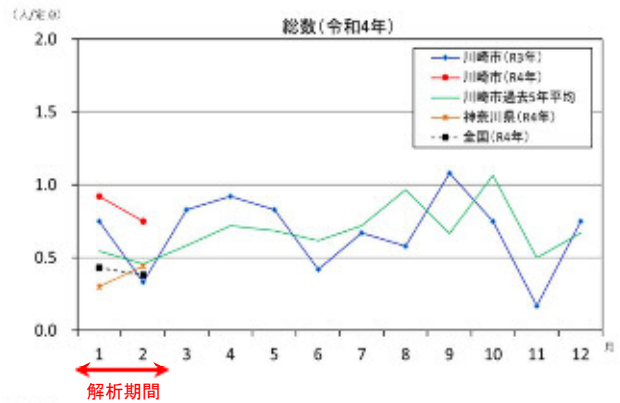
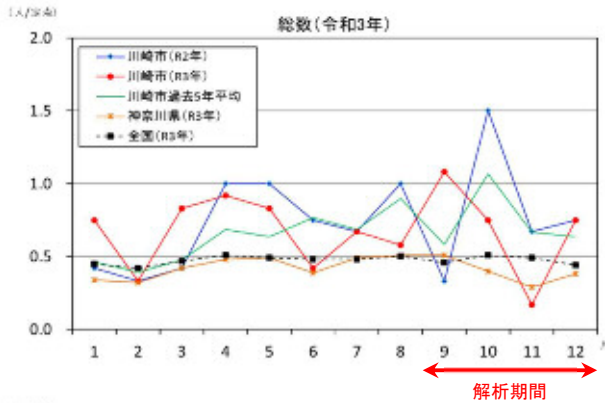
全国的にも例年並みのレベルで推移しましたが、11 月～12 月は例年よりやや高いレベルで推移しました。



# 尖圭コンジローマ

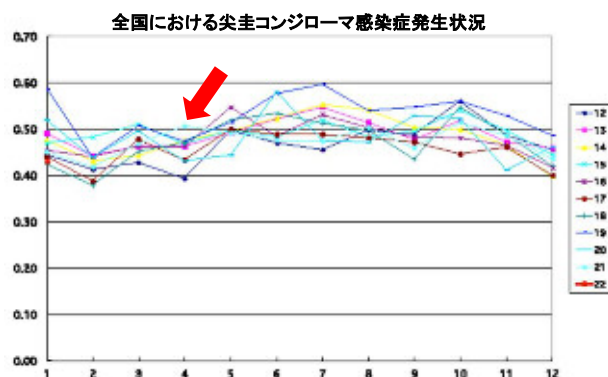
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.69 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.08 倍で、例年並みのレベルで推移しました。男性は 9 月、1 月及び 2 月、女性は 9 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

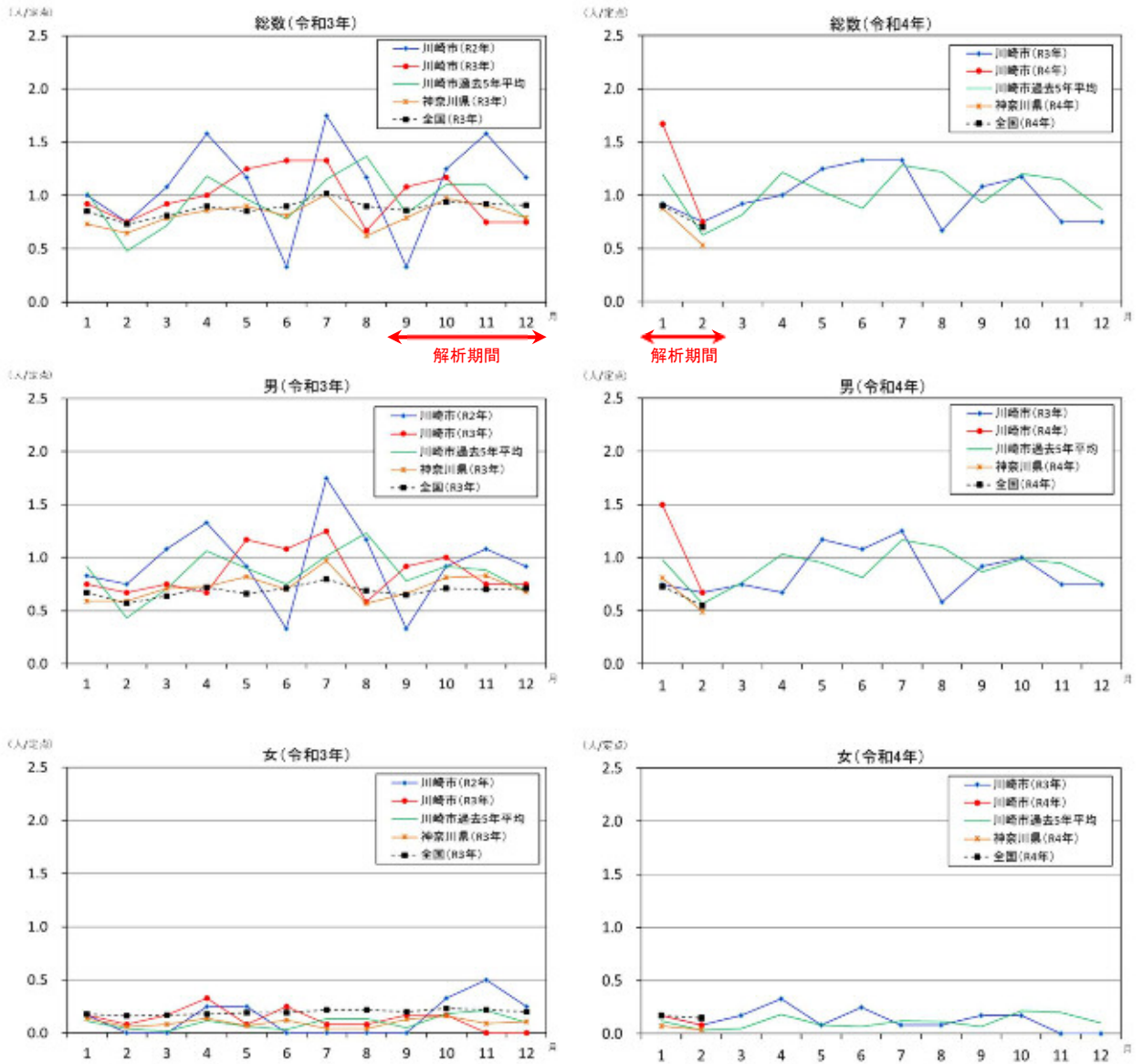
全国的にも例年並みのレベルで推移しました。



# 淋菌感染症

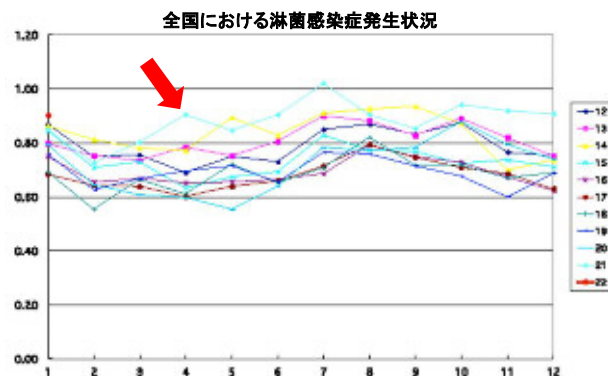
## 【川崎市】

今期は定点当たり 1.08 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.17 倍で、例年並みのレベルで推移しました。男性は 1 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。

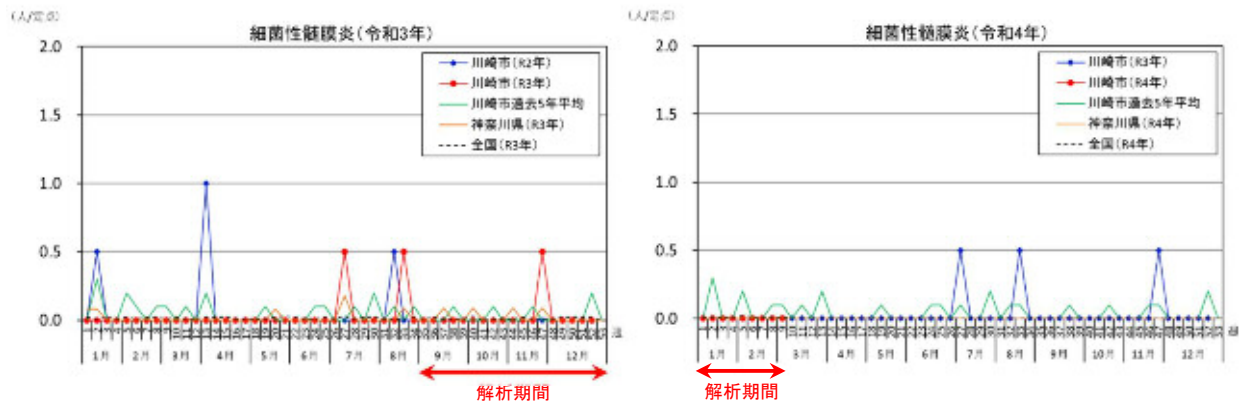


# <基幹定点対象疾患（週報）>

## 細菌性髄膜炎

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.02 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.45 倍で、例年より低いレベルで推移しました。第 47 週に 1 件の報告がありました。

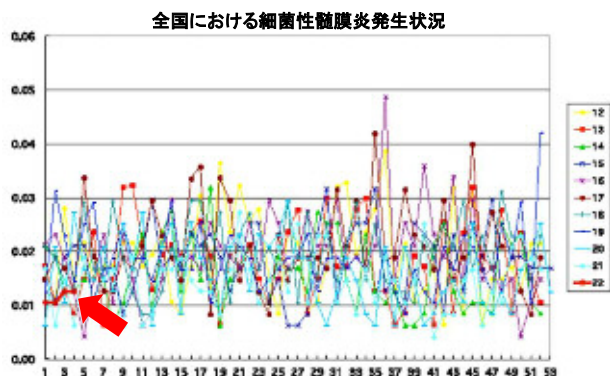


なお、検出された病原菌は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	届出週	検査材料	検査結果
川崎区	男	55	第 47 週	髄液	<i>Staphylococcus aureus</i>

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。

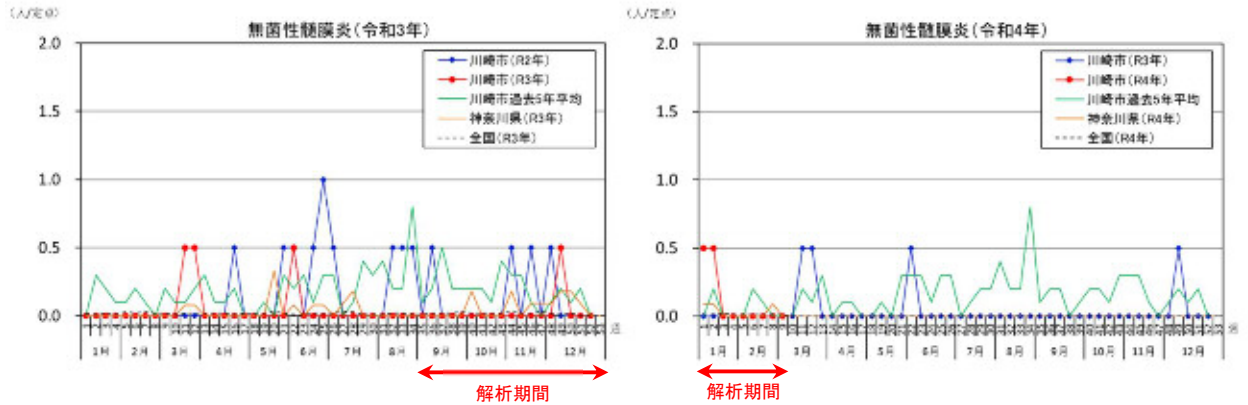




# 無菌性髄膜炎

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.06 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.42 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

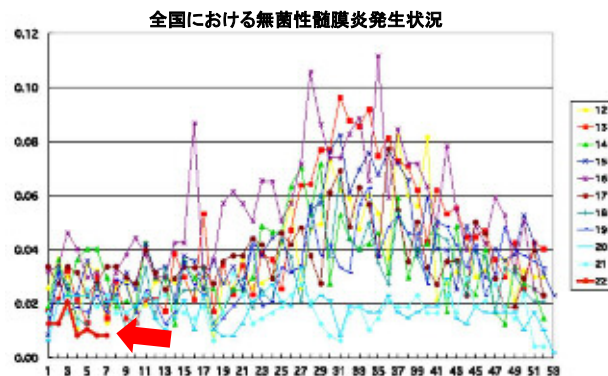


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	女	1 か月	R3.12.3	髄液	陰性
川崎区	男	37	R4.1.4	髄液	陰性

## 【全国及びその他】

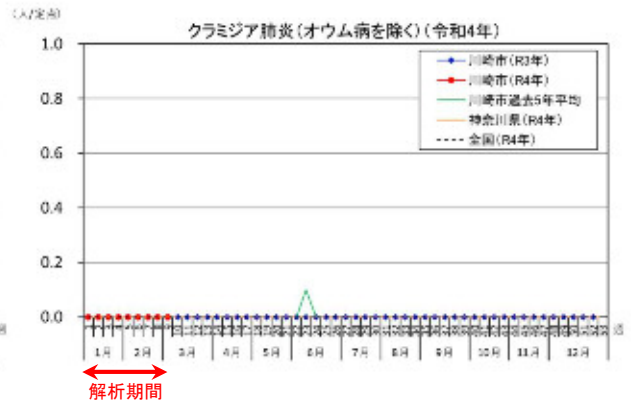
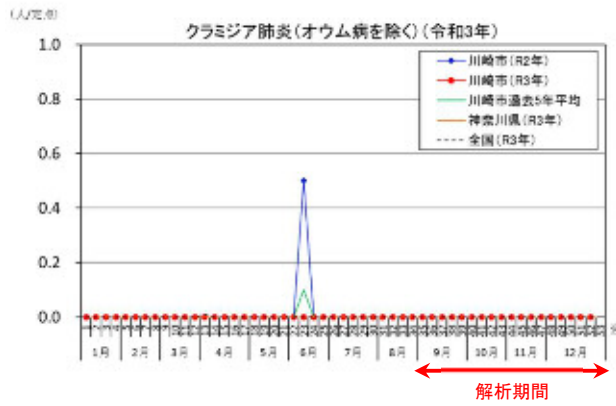
全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



# クラミジア肺炎(オウム病を除く)

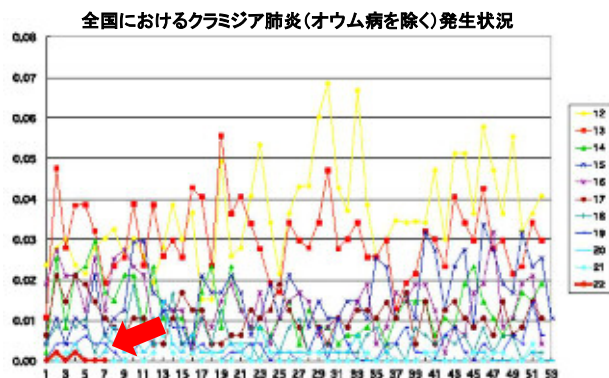
## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

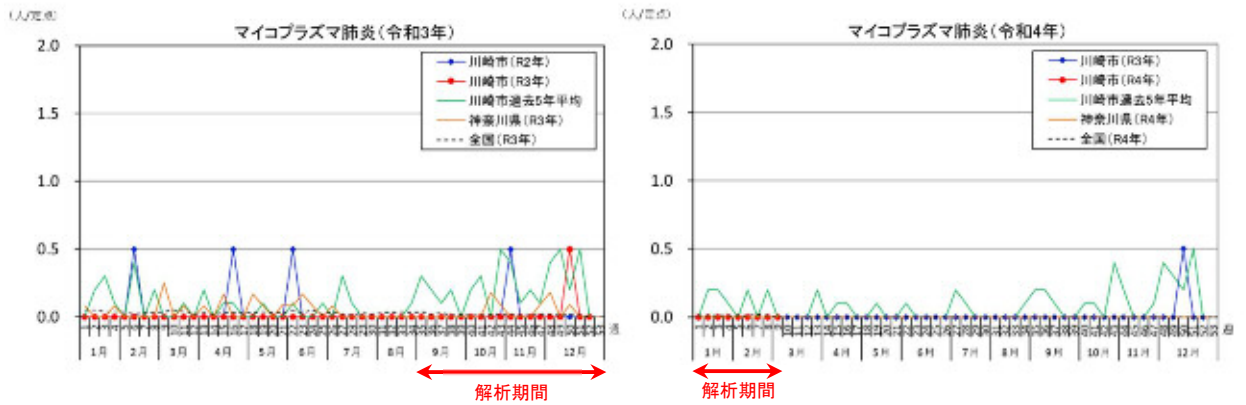
全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



# マイコプラズマ肺炎

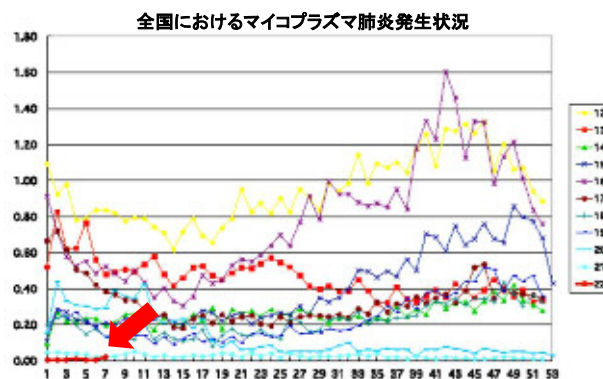
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.02 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.11 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。第 50 週に 1 件の報告がありました。



## 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

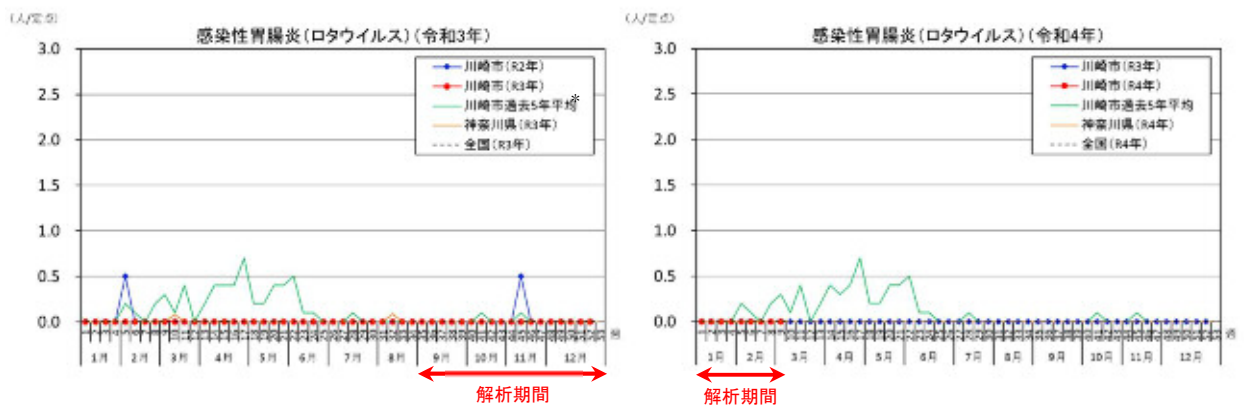


## 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。

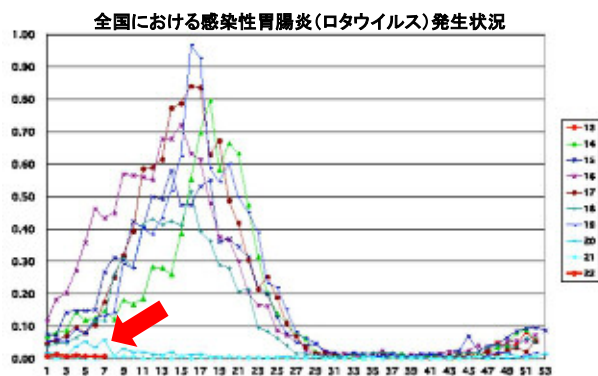
なお、令和2年10月1日からロタウイルスワクチンが定期接種化されました。



病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

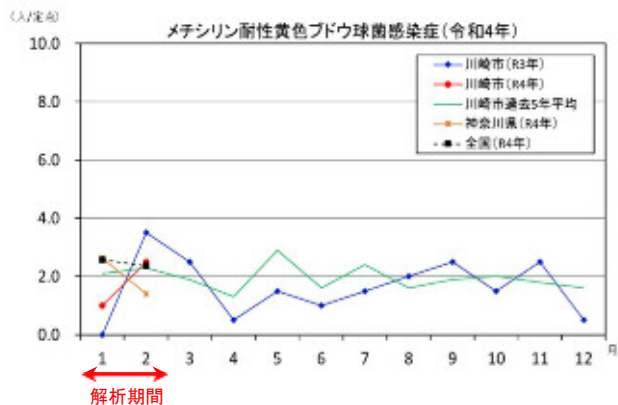
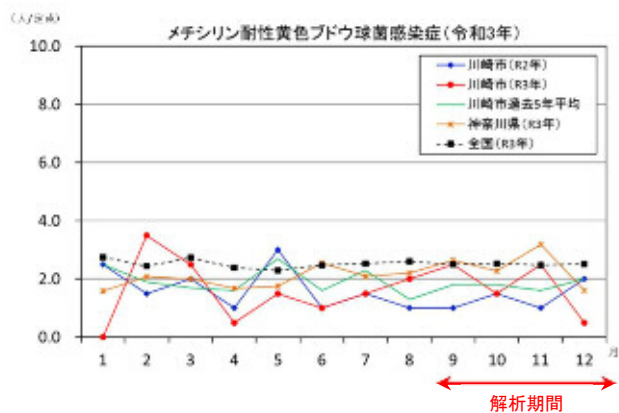


## <基幹定点対象疾患（月報）>

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

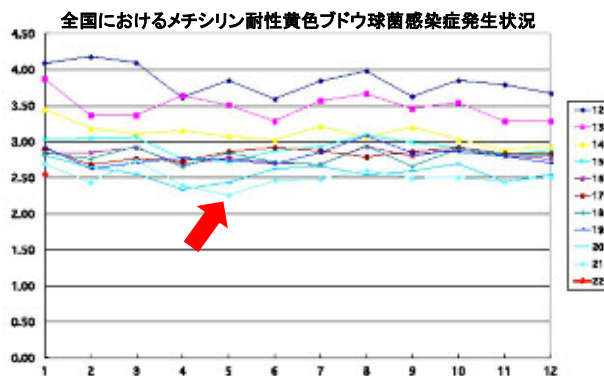
#### 【川崎市】

今期は定点当たり 1.75 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.90 倍で、例年並みのレベルで推移しました。



#### 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

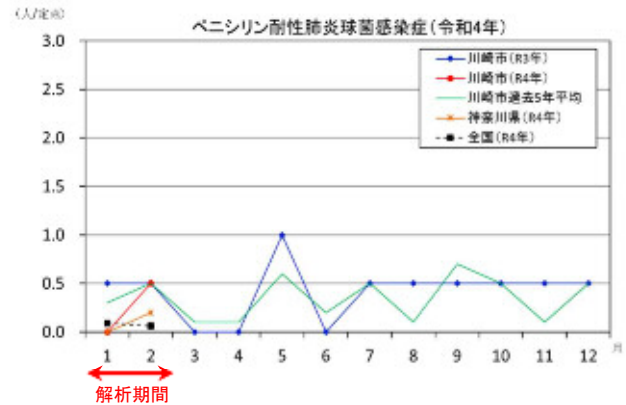
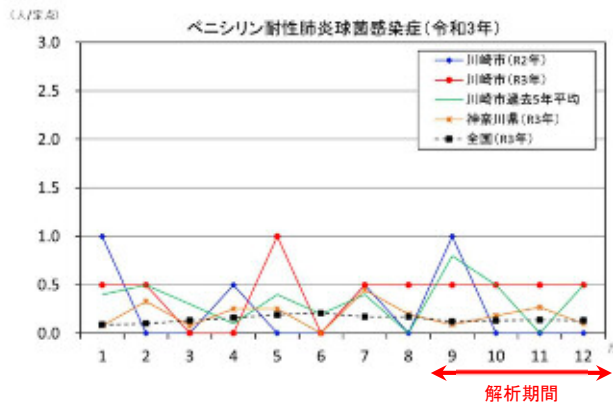




# ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

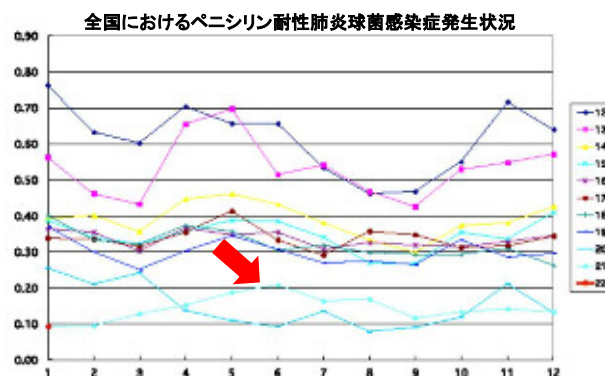
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.42 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.97 倍で、例年並みのレベルで推移しました。9 月～12 月及び 2 月に各 1 件の報告がありました。



## 【全国及びその他】

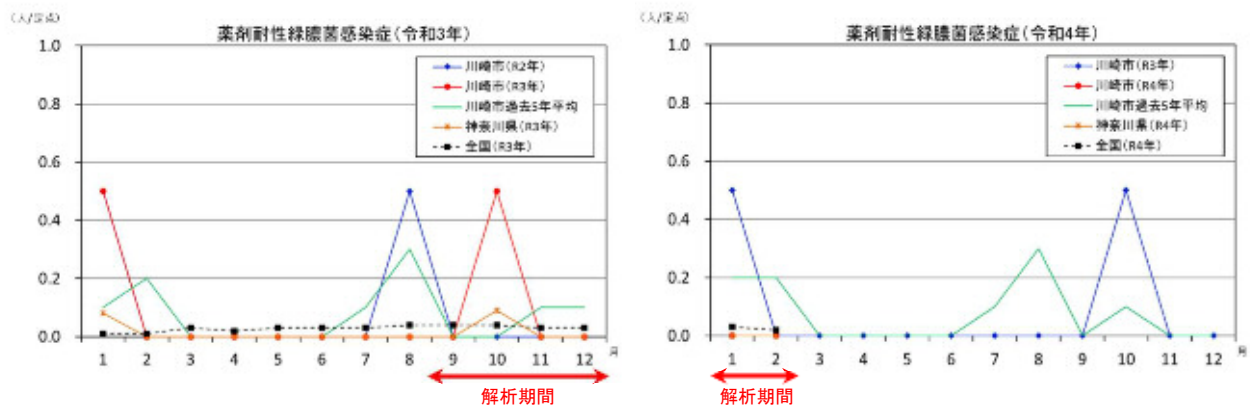
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



## 薬剤耐性緑膿菌感染症

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.08 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.82 倍で、例年並みのレベルで推移しました。10 月に 1 件の報告がありました。



### 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

